

くまもとけんりつとうこうとうがっこう かがくぶぶぶつりはん
熊本県立宇土高等学校科学部物理班

夢部門



概要

| | |
|-------|------------------|
| 団体名 | 熊本県立宇土高等学校科学部物理班 |
| 代表者 | 福田 朋昭 |
| 構成 | 13名 |
| 推薦団体 | 熊本県教育委員会 |
| 主な活動地 | 宇土市 |

これまでの主な活動歴

- 平成二十六年 中国青少年科学技術イノベーションコンテスト国際代表部門「二位受賞」北京
- 平成二十七年 SSH(スーパーサイエンスハイスクール)生徒研究発表会文部科学大臣賞【全国一位】
- 第七十五回熊本県科学研究物展示会(科学展)熊本県知事賞受賞
- 青年科学技術会議数学部門「一位受賞」(タイ・バンコク)
- 平成二十八年 日本物理学会第十三回ジュニアセツション最優秀賞受賞【全国一位】
- 平成二十九年 第四十一回全国高等学校総合文化祭(自然科学)物理部門最優秀賞受賞【全国一位】

熊本県立宇土高等学校科学部物理班は、これまで六年間にわたり「副実像」の研究を続け、平成二十九年に開催された全国高等学校総合文化祭自然科学部門の物理部門で最優秀賞【全国一位】を受賞されました。

大学で習う行列計算を用いて、手計算で一時間以上かかる行列計算を四百回以上行っ、レンズに出現する「副実像」六パターン全ての出現位置の定式化を完成させたことが主な受賞理由です。

当団体は、これまでも「副実像」の研究で、日本一に二度輝いたほか、国外の大会にも出場するなど、数々の大会で優秀な成績を収めています。

研究の成果は、平成三十年度の高校物理の教科書(東京書籍)に「高校生がつくった副実像のレンズの公式」として掲載されることも決まっています。

このように、当団体は、県内の高校生の文化活動の活性化につながる優秀な成績を収められ、今後もますますの活躍が期待されます。